

# 「働く」こととは…

## 1冊で2度楽しい!! ～過去に映像化された小説～

テレビや映画で映像化された小説を紹介！  
気になっていた結末を読み返したり、なつかしい作品と再会したり…。原作と映像の違いを探すのも楽しい。(\*^v^\*)/

『ボーンコレクター』(文藝春秋)  
ジェフリー・ディーヴァー/著  
池田 真紀子/訳



数々のメッセージを残しながら、数時間おきに被害者を監禁する稀代の連続殺人鬼ボーン・コレクター。首から下が麻痺した元刑事と、彼の目・鼻・手足となる女巡査が、犯人を追う。新たな「安楽椅子探偵」の大活躍。

1999年、デンゼ  
ル・ワシントンと  
アンジェリーナ・  
ジョリー主演で、  
映画化。



「働く」とはどういうことだろう？働き方や、働くこと意義、目的など、働くことについてもう一度考えてみませんか。  
展示本より紹介



『「働く」ために必要なこと  
～就労不安定にならないために～』(筑摩書房)  
品川裕香/著  
せっかく就職したのに3年以内に離職する人、約30%。経験者扱いもされず、正規採用への道は困難だ。それなのに、働きつづけられないのはなぜなのか。就労支援の現場から、「働く」ために必要なことを考える。



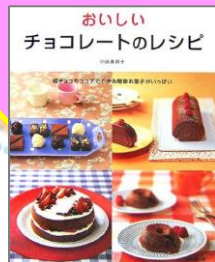
『働く君に贈る 25の言葉』(WAVE 出版)

佐々木常夫/著  
何があっても、自分を見捨てるな。とことん自分を大切にしなさい。自閉症の長男、病に倒れた妻。過酷な運命を引き受けながら社長に上りつめたビジネスマンが説く、逆風をしなやかに生き抜く「仕事力」と「人間力」。



## 『心のこもったあま〜い贈り物』

バレンタインに、手作りお菓子のプレゼントを贈りませんか？



『おいしいチョコレートのレシピ  
～板チョコやココアのできる簡単お菓子がいっぱい～』  
小田真規子/料理 (成美堂出版)

板チョコのできるシンプルな焼き菓子やクーベルチュールを使ったトリュフなど、とっておきのレシピを紹介。大切な人と食べたり、プレゼントしたり、心のこもったチョコレートのお菓子を作ってください。

## 2016年 本屋大賞

ノミネート作品発表

大賞の発表は  
4月12日!!

『朝が来る』辻村深月 『王とサーカス』米澤穂信  
『君の隣をたべたい』住野よる 『教団X』中村文則  
『戦場のコックたち』深緑野分 『火花』又吉直樹  
『世界の果てのこどもたち』中脇初枝 『流』東山彰良  
『永い言い訳』西川美和 『羊と鋼の森』宮下奈都

本屋大賞とは・・・

全国の書店員が自分で読んで「お客様にも薦めたい」「自分の店で売りたい」と思った本を選び投票して決める賞。

